

○ LGBTQ 対応 金融で広がる（22/12/19 日経夕）

- ・ 金融機関の間で LGBTQ（性的少数者）が利用しやすいように商品の要件を緩和する動きが広がっている。
- ・ 三井住友海上とあいおいニッセイ同和は、傷害保険の補償対象の配偶者に同性パートナーを加えた。自動車保険と火災保険でも東京海上日動や損保ジャパンなど大手 4 社が対応済み。
- ・ 金融サービスが身近になる一方で、税制面では課題が残る。生命保険金を残された妻や夫が受け取る場合「500 万円×法定相続人の数」の非課税枠がある一方、同性パートナーは全額が相続税の課税対象になる。
- ・ 11 月に東京都はパートナーシップ制度の運用を始め、LGBTQ 対応がさらに進むとの期待が高まる。

○ 安全運転スコア提供を通じた他事業者との連携スキーム あいおいニッセイ同和（22/12/22 ニュースリリース）

- ・ あいおいニッセイ同和は、独自のアルゴリズムを活用しドライバーの運転挙動を見える化した安全運転スコアを、走行データを取得できるデバイス等を持つモビリティサービス事業者やプラットフォーマー（以下、「テレマティクス事業者」）に提供することで、広くテレマティクスサービスを普及していく「Telematics Powered by AD」の取り組みを開始する。これにより、テレマティクス事業者のデバイス・アプリを通じて取得した走行データと安全運転スコアを活用して、当社テレマティクス自動車保険加入時の保険料を最大 8%割引く国内初の割引制度を 2023 年 1 月以降保険始期契約分から導入する。
- ・ 昨今の IoT・CASE・MaaS の進展により、走行データを保有するテレマティクス事業者は拡大しており、今般当社のデバイスやコネクティッドカー以外でも安全・安心に資するテレマティクスサービスを普及していくため、事故低減効果がある安全運転スコアをテレマティクス事業者に提供することとした。
- ・ 「Telematics Powered by AD」は、テレマティクス事業者が提供するデバイスやアプリから取得した走行データを活用することで、テレマティクス事業者のサービス利用者にも安全運転スコアやアドバイス等の提供が可能になる。また、当社テレマティクス自動車保険の新規加入時には、加入前の走行データに基づき、最大 8%の運転特性割引を適用する。
- ・ 「Telematics Powered by AD」の第一弾として、大型の整備工場等へ DX 推進に資する各種サービスを提供するリバイス合同会社（以下「リバイス社」）との協業を開始する。車両の定期メンテナンスやリモート診断等のサービスを展開するリバイス社提供の車載器（LINKDrive Air）より取得する走行データを使用したテレマティクス自動車保険「タフ・見守るクルマの保険プラス S（リンクドライブ）」を 2023 年 1 月以降契約始期分から提供する。特約保険料は月額 100 円で、提供するサービスはタフ・見守るクルマの保険プラス S と同じ。

○ JR東日本のメタバース空間「Virtual AKIBA World」に出展 東京海上日動（22/12/26 ニュースリリース）

- ・ 東京海上日動とあんしん生命は、JR 東日本が「Beyond Stations 構想」の一環として開業した“Virtual AKIBA World”（以下「VAW」）に「東京海上日動 VAW 保険相談所」を出展し、保険代理店を通じた情報

提供・保険商品の販売を開始する。また、保険を身近に感じていただくためのゲームコンテンツとして「VAW・空飛ぶカーレース」の提供を開始する。

- ・ 近年、新たなコミュニケーションや経済活動の場として、インターネット上の仮想空間であるメタバースが注目されている。JR 東日本は、2022 年 3 月に世界初となるメタバース・ステーションの VAW を開設し、バーチャル空間を活用した新たなサービスを提供するなどメタバースの社会実装に向けた取り組みを進めている。
- ・ 東京海上日動とあんしん生命は、JR 東日本が運営する VAW 上に「東京海上日動 VAW 保険相談所」と「VAW・空飛ぶカーレース」を開設する。

① 東京海上日動VAW保険相談所

東京海上日動とあんしん生命がVAWに開設した相談所内で、保険代理店のアバターが、お客様からの保険に関する相談に対応する。また、メタバース空間上での商品説明に加えて、「スマートらくらく手続き」などのオンライン手続きを活用して、保険加入まで可能（生保は保険商品に関する情報提供・プラン設計のみ）となる。

メタバースを活用することで、保険相談にかかるお客様の心理的負担を減らし、気軽な保険相談・検討を可能とする新たな顧客体験を提供する。

②VAW・空飛ぶカーレース

空飛ぶ車を乗りこなして、VAWの最速レーサーを目指すゲーム。ゲーム終了後には、プレイヤーの操作方法に応じて、お客様の運転性向を分析したドライバー診断レポートを提供する。

ゲーム内では、架空の損害保険や生命保険を利用することでレースを有利に進めることができ、保険の特性を楽しく体験できるゲームコンテンツになっている。

○ 損保の再保険料、来年高騰（22/12/28 日経朝）

- ・ 損保各社が巨額の保険金支払いに備えて払っている再保険料が高騰する見通し。2023 年に米国の自然災害関連の再保険料は 22 年に比べ 2 割程度の上昇が見込まれる。
- ・ 再保険はファンドや年金基金の有力な運用先だったが、米欧の相次ぐ利上げでリスクの低い債券運用にシフトしているためだ。自然災害も多発しており、企業や個人が負担する保険料に跳ね返ってきそうだ。
- ・ これまでは災害が相次ぐ中でも再保険料の伸びは抑えられていた。だが、22 年に構図が一変し、大規模災害の多発で再保険のリスクが高まり、大災害債などを買う投資家が減った。各国の利上げに伴い、国債や社債の投資妙味が高まり、保険商品に比べてリスクの低い債券運用にシフトした。
- ・ 日本国内の事業環境も厳しい。大手 4 社の火災保険事業は、21 年度まで 12 年連続の赤字となっている。
- ・ 日本の自然災害の再保険料は 23 年 4 月に更改する。再保険会社は全世界のリスクを引き受けながら各国損保と交渉しており「米国の自然災害関連の更改は先行指標になる（大手損保幹部）」と警戒感が強い。再保険料の上昇は、保険事業の収支が悪化する要因となる。家計や企業の保険料負担は、一段と増える見込みだ。

○ 大規模自然災害からの早期復旧を目指し、リフォームの「ヌリカエ」とトライアルサービスを展開 損保ジャパン（22/12/28 ニュースリリース）

- ・ 損保ジャパンとリフォームのマッチングプラットフォーム「ヌリカエ」を運営する株式会社 Speee は、近年激甚化の傾向にある自然災害発生時に、被害に遭われた家屋の早期復旧をはじめとした社会課題解決を目指して業務提携し、火災保険修理業者紹介サービスのトライアルを開始する。

- ・ 近年、自然災害の激甚化に伴う被災地の復旧遅延は社会問題となっており、早期復旧へ向けた取り組みが保険会社にも求められている。また、災害に便乗して不要な住宅修理の契約を迫るなど、悪質な勧誘をする修理業者とのトラブルも近年増加しており、被災地を中心にお客さまから不安の声があがっている。
- ・ これらの課題解決のため損保ジャパンは、全国に加盟企業ネットワークを持ち、リフォームのマッチングプラットフォーム「ヌリカエ」を運営している Speee と業務提携し、被災地で施工可能かつ優良な修理業者を早期にお客さまに紹介する火災保険修理業者紹介サービスのトライアルを開始することにした。
- ・ 「ヌリカエ」は、外壁塗装を中心に水回りや解体工事も対応しており、累計 4,000 社を超える加盟企業ネットワークを持っている。お客さまのご要望や住まいの詳細を専門アドバイザーがヒアリングし、お客さま一人ひとりに最適な修理業者を紹介している。損保ジャパンはこれまでも、事故に遭われたお客さまに対して修理業者を紹介しているが、今回の提携により、さらに幅広い修理業者の紹介が可能となる。

○ SME 向けサイバーセキュリティ・ソリューションを共同開発 三井住友海上（23/1/6 ニュースリリース）

- ・ 三井住友海上火災、あいおいニッセイ同和、MS&AD インターリスク総研と、Coalition,Inc.は、日本の SME（中小企業）向けソリューションを共同開発することに合意した。サイバーセキュリティ分野の米国インシュアテック企業と損害保険会社が提携し、SME マーケット向けにソリューションを開発する国内初の取組となる。
- ・ 企業活動のデジタル化が進む中、人命を預かる病院や大企業の取引先を標的としたサイバー攻撃が増えている。多種多様なセキュリティ対策の実行には多くの費用を必要とし、大企業に比べて予算や人員が限られる多くの企業では、脆弱性に対する十分な対策が講じられていないケースが散見される。
- ・ この状況を打開するためには、自社のリスクに狙いを定めたセキュリティ対策を可能とする、優れたサイバーリスク診断技術が必要。Coalition 社は、最先端のサイバーリスク診断技術を有する米国 SME 向けサイバー保険販売のトップランナーであり、インターネット接続された世界中の端末機器（90 億台以上）からペタバイト（1 ペタバイト＝100 万ギガバイト）級のセキュリティ情報を収集・蓄積し、ビッグデータを生成している。このデータの分析により企業のリスク実態を低廉なコストで高精度に把握し、分析結果にもとづいたサイバーセキュリティ分野のソリューション提供やサイバー保険販売を実現している。
- ・ MS&AD インシュアランスグループは、Coalition 社のサイバーリスク診断技術が日本にも適していることを、実証実験を通して確認し、日本市場向けの新たなソリューションを共同開発することで合意した。Coalition 社の技術を活用し、ハッキングに対する脆弱性など、企業のサイバーリスクを可視化する以下のソリューションを共同開発し、2023 年度中のリリースを目指す。
 - （1）SME を対象とした自社サイバーリスク診断サービスおよび定期モニタリングサービス
 - （2）子会社や取引先等を経由した「サプライチェーン攻撃」に備える大企業向けサービス
- ・ 開発するサービスの提供を通じて得られるデータは、MS&AD インターリスク総研内に構築するデータベースに蓄積する。蓄積されたデータを分析し、サイバーリスク実態に合ったソリューションやサイバー保険を提供することで、より安全な社会の実現に貢献する。

以上